

事務事業名	花と緑の市支援事業			担当	産業環境部 商工観光課 観光係			
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			電話番号	83-8135		
施策名	4	観光の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和48 年度～）			
予算科目	1.一般会計	7.商工費	1.商工費	3.観光費「	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	市内造園業者の有志が花と緑の市実行委員会（20業者）を組織して、平成18年度までは、4月29日（みどりの日）に、平成19年度からは、5月4日（みどりの日）に久保講堂南側において、苗木等の無料配布（毎年500本）を実施した。平成20年度からは同年4月に開設した「あぐりっ娘」多目的広場に会場を移動し、庭園を展示した。平成22年度は、洋風、和風の2つの庭園を整備し、つつじ苗木500本を無料配布し、5月2日から5日までの4日間開催した。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 22年度実績 ・補助金交付事務 23年度計画 震災により自粛		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 補助金額	千円	90	850	400	360	0
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 花と緑の市実行委員会		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 花と緑の市会員数	人	18	20	20	20	20
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市内外から観光客の誘客を図る。		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 花と緑の市に訪れた観光客数	人	500	2,000	2,000	2,000	
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 訪れてもらう、観光客の誘客を図る		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 真岡市を訪れた観光客数	人	1,899,162	1,936,456	2,784,799	2,806,703	2,500,000
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	90	850	400	360	0	
	事業費計(A)	千円	90	850	400	360	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	2	2	0
		延べ業務時間	時間	16	22	22	22	0
		人件費計(B)	千円	67	92	89	94	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	157	942	489	454	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市内造園業者のPRや緑化推進を図ることを目的に実行委員会を組織して、花と緑の市を開催しているのが昭和48年から支援した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成14年度までは花と緑の市の開催期間を1週間として、各実行委員は庭園の見本等をPRしていたが、平成15年度からは開催日を1日に短縮して、苗木の無料配布に変更した。ゴールデン・ウィークの観光イベントとして定着し、市内外から来客している。また、平成20年度は30回記念事業とし、会場を「あぐりっ娘」に変更し日本庭園の展示を再開すると共に、開催期間も5月3日から6日までの4日間にして実施し来客者も増加した。平成21年度は合併記念として開催した。平成22年度より補助金を10%カットし36万円補助した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	平成20年度からは会場を変更し「あぐりっ娘」で庭園展示を実施したことにより、周辺施設の観光客等を誘客して相乗効果により花と緑の市の来客が増え、庭園が好評だったことにより、実行委員会は補助額もそのままでも今後も実施していきたい意向がある。短期間で庭園を撤去してしまうのはもったいない。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 花と緑の市を開催することにより、緑化推進を通じて観光振興を図っているため、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 花と緑の市は、観光振興と緑化推進に役立っている。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 花と緑の市を開催によって、緑化推進を通じて観光振興を図っているため、適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 会場変更などにより、来客が増え一定の成果が上がっており、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 補助を廃止すると、事業開催が出来なくなり、観光振興に支障をきたす。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 花と緑の市開催及び庭園造作の必要最低限の経費であり、削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金交付等に依る、必要最小限の事務であり、削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 実行委員は各事業者から負担金を徴収しており適正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							